

# 環境マイレージ導入を

## 町長 専門的な組織で検討すべき



録画を配信

**地球温暖化対策を身近なものに 温暖化対策**

**問** 今後どのような施策を展開する

**町長** 町民が自ら対策に取り組めるよう、セミナーの開催や「緑のカーテン」を実施する。



**環境マイレージ**

**問** 対策を町民に身近なものとする



笹原俊一議員

ため環境マイレージ導入を提案する。

**町民課長** 取り組みにつかて詳しく検討していきたい。

**町長** 専門的な組織で検討するべきと考える。

**問** 児童生徒が温暖化について学ぶ機会を。

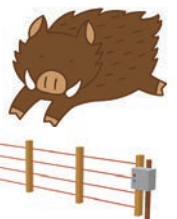
**町民課長** 令和4年度から森林学習、木育を通し地球環境やゼロカーボンの考え方を正しく理解できるように取り組む。

**問** ヤングケアラーの掌握と支援 実態の掌握と対応

**教育長** 本町でも確認されている。教職員が声掛けしながら見守っている。

**問** 早期発見と適切な支援をするため、先生方の取り組みも必要。研修などを実施してはどうか。

**教育長** ヤングケアラー問題は避けて通れない。前向きに検討する。



**鳥獣被害対策**

**問** 成果と課題は。

**農林課長** 対象地域全域を電気柵で囲い、被害の軽減につながる効果が見られた。

**町長** 両地区ともかなりの被害があり取り組んだが、除草作業などの負担が大きく、担い手や後継者がそろわなければできない。

**問** ほかの地域にも波及させる取り組みは。

**農林課長** 区長会、中山間地域の話し合い、出前講座などの機会に普及していく。

**一体の取り組み**

**問** ※中山間直接支払いの組織で研修会を開いているが、猟友会と一体となった取り組みを考えているか。

**農林課長** 中山間組織の資金を活用した免許取得も行われているが、実際に狩猟を行うには、冬場の狩猟期を除き、猟友会への加入が必要である。免許を取得した人に猟友会への加入を呼びかけていく。

※ヤングケアラー 家族の介護や世話などを日常的に行っている18歳未満の子ども。

※中山間直接支払い 農業生産条件の不利益な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）を締結し、それに従って農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する仕組み。